http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gorakuren/

第１８４号
発行日　平成１８年１１月２５日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　　竹 島　正 義
編集者　　渡 辺　己 三 男

碁楽連の目的

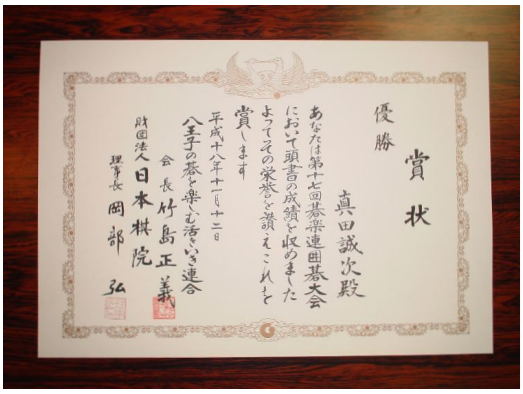
碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

碁楽連大会（３段以上の部）開かれる

さる１１月１２日（日）、好天ながら身の引き締まるような冷気の中、朝９時前から参加者が続々と東淺川保健福祉センターの会場に集まり、活きいき地区大会などで磨かれた日頃の腕前の集大成を披露しました。

参加者は、総勢１１０名と、昨年の１０４名に比べて若干の増加となりました。クラス数も今までよりひとつ多い５クラスとしましたが、地区同好会から多数の方々の応援をいただいて、会場設営、受付、組み合わせなどスムーズな進行を図ることができました。ご協力くださった方々に厚くお礼申し上げます。昨年持ち帰りいただいた弁当の容器なども、今年は、すべて弁当屋さんに処理していただきました。午後４時ごろにはすべての対戦を終わり、別項のとおり入賞者が決定しました。入賞された方々本当におめでとうございました。

活きいき地区大会の賞状は、今年からパソコンによる記名としてきましたが、碁楽連大会は、例年通り碁楽連記名の専門家、佐藤要吉氏にお願いしました。佐藤さん有難うございました。



また、この日開会式で、例年どおり高齢会員の表彰が行われました。今年から表彰対象の年齢が多少変わったため（下記註参照）人数が２名（２段以下は来月）と少なくなりましたが、日本棋院特製の湯飲み茶碗をお贈りしました。どうぞ、末永くご愛用ご活躍ください。

高齢会員の表彰を受けた方々

中田　勉６段（中野同好会）　城定　武３段（北野同好会）いずれも９０歳

１２月１０日（日）は、２段以下の部の大会が開かれます。どうか、また大勢の方々の参加をお待ちしております。 無断欠席が多く、主催者として困っております。やむを得ず欠席するときは、事前に竹島会長（675-1581）、または、渡辺理事(626-0608)に電話してください。

（註）新しい表彰対象年齢　８０，８５，８８，９０歳、９１歳以上は全員

（今年８０歳の方は昨年表彰済みのため行わない）

いつまでもお元気で碁を楽しんでください（１１月１２日の碁楽連囲碁大会で競技中のお二人）。

城定 武３段/北野

中田 勉６段/中野

第17回　碁楽連囲碁大会(三段以上)の結果

平成１８年１１月１２日開催：参加者数１１０名（浅川２０、恩方１５、元八王子６、中野７、大和田３、石川４、由井１４、台町６、由木４、北野２４、長房７）

Aクラス（７段、６段・参加者２２名）

優勝 真田誠次７段/淺川　　準優勝 光岡宏志７段/由井　　第３位 塚原和利７段/長房

Bクラス（６段・参加者１８名）

優勝 大藪成人６段/由井→７段に昇格　　準優勝 小池晴高６段/恩方　　第３位 木村一男６段/淺川

Cクラス（５段・参加者１６名）

優勝 藤崎　稔５段/北野→６段に昇格　　準優勝 中村幸男５段/長房　　第３位 石坂 慶通５段/北野

Dクラス（４段・参加者２６名）

優勝 五十棲健一４段/恩方→５段に昇格　　準優勝 佐藤裕久４段/恩方　　第３位 武藤至輝４段/北野

Eクラス（３段・参加者２８名）

優勝 二見武夫３段/由井→４段に昇格　　準優勝 中村順二３段/石川　　第３位 森本康男３段/中野

地区同好会めぐり（第7回・大和田）

浅川大橋から大和田橋方面を望む

会場の大和田市民センターは、昔、小宮村役場があったところで、甲州街道に近く、歴史的な価値があり、ここで囲碁ができることはたいへん幸せです。

一時、会員が減りましたが、この２，３年若い人が入会して、３０名以上に戻り、ホッとしました。級位者の方が１４名になり、会員全体の４５%を占めています。これは人数でも、また率でも碁楽連傘下の同好会中で断然の第一位です。

碁会は毎週日曜日の午後１時から５時まで、会費は２００円/月で運営しています。

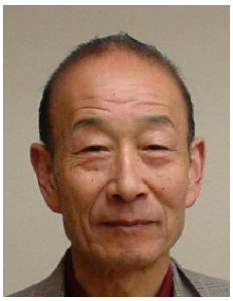
本年度前期には、研修会での昇格者３名を含め合計５名（うち４名は級位者）の昇格者が出て皆で喜んでいるところです。

大和田地区は、面積が広く今後も人口が増えていくでしょう。近くに淺川が流れ、見晴らしはすばらしく散歩者も多いです。近い山はもちろん、遠く上越地方まで見ることができるので、山好きな人にはうれしい限りです。

都立小宮公園

碁で昇格できればその喜びはひとしお、碁を通じて知力の衰えを防ぎ、歩くことで体力維持ができればさらに幸せを実感できます。

淺川べり、小宮公園や大谷雑木林などへの散歩がてらにでも、ぜひ大和田へ碁をうちに来てください。



井出　道明 会長代理

石田　利雄 会長

佐藤 久雄　副会長

大会の総括　平成１８年度活きいき囲碁大会、団体対抗を顧みて

碁楽連広報担当理事　渡辺己三男

はじめに　連合設立当時の大会の記録を参照するため、東浅川保健福祉センターの団体交流室で「碁老連ニュース」のバックナンバーをひもといた。創刊号から第 172 号までを綴じこんだ紙ファイルが 8 冊、ビニール紐でキリリと括られ保管されている。一番古いファイルの表紙をめくってアッと驚いた。手書きの創刊号が目に飛び込んできた。丹念に版下を起こし複写で仕上げた初代会長熊崎正一氏の作と知った。平成 2 年 2 月 11 日に発行されたものだ。記事の表題に目を通しながら頁をめくり会報を順に追っていく。正確に月 1 回のペースで休みなし。氏の手書きの会報は第 109 号までつづいた。巻数の多さには勿論のこと、その綿密で多岐にわたる掲載内容には敬嘆する。碁老連立ち上げから、各種碁会の組織づくり、大会の開催案内、運営、結果報告はもとより、関連文献の引用、身近な町会、住民協議会や市民センターへの働きかけ、市当局、日本棋院等の外部機関への陳情や折衝等々。ボケ防止と囲碁については格別の関心を持たれた様子で、それを扱った記事、文献、新聞切り抜きが随所に現れる。今の活きいき囲碁大会にも「××防止啓発」なる冠名を付したほどである。働きかけの対象は新聞社や、医学者、時の大臣や首相にまで及んだ。

後続の第 110 号は、平成 11 年 4 月 10 日に発行された。6 頁にわたる全ての記事がワープロで作られている。それまでの手書きの会報とは様相が一変している。引き込まれるように中を読み始めた。その途端に目が釘付けになった。

そこには、「・・熊崎さん 2 月 19 日に逝去・・」と。

つぎの瞬間、私の指先は会報をめくり返し、目は第 109 号の発行日付を追っていた。それは平成 11 年 2 月 16 日であった。

なんと、亡くなる 3 日前まで会報を作りつづけてくださったのだ。

（参考）年齢については、平成 4 年当時の会報で自ら、『・・今年 12 月で満 80 才になる。万一、会報発行に支障を来たすような事態になっては皆様方に御迷惑をかけることになるので・・』と述べておられた。

活きいき囲碁大会　会報を遡ると、活きいき囲碁大会は、平成 3 年 3 月の浅川大会に始まったことが判る。平成 5 年当時の記録によれば、碁楽連の会員数は 274 名で、浅川大会を始めとする 5 つの大会が開かれ延 286 名が出場した。今ではどうか。最近の 5 年間の大会出場者数の推移を下表に示す。活きいき出場者は昨年度までは 400 名前後で、あまり目立った変化はなかった。今年度は会員数が減少したにもかかわらず 552 名が出

会員数と大会参加者の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
会員数（4月1日現在）	371	368	380	391	370
団体対抗出場者	174	181	182	170	178
活きいき出場者	434	396	422	475	552

場した（会員数がほぼ同じ平成 15 年度に比べて略 4 割増にあたる）。これは、所属地区以外の大会に自由に参加できるようにしたことや、優勝者も原則として再出場可能とし

たことなど出場資格の制限緩和によるところが大きいと考えられる。北野同好会員に多く見られるような、他の同好会の大会への遠征出場が全体に広まれば出場者数が更に増えて、大会が大いに盛り上がる。新会員の加入にもつながると期待している（活きいき囲碁総括表参照）。

つぎに、非会員の出場が延 82 名（実数で 76 名）あった。データは保存してあるので今後の入会勧誘にぜひ利用していただきたい。また非会員については参加費の面で会員と差をつけるのが合理的と思える。会員が負担した本部への会費の一部が、活きいき大会の経費補填に使われている。参加費が同じでは、非会員の方が会員より負担が軽いのである。

最後に、今年度の活きいき大会での昇格者は、去る 10 月 8 日の長房大会で優勝された新倉幹夫６段/恩方、市川公雄４段/台町および森久保啓二２段/長房の３氏を含め合計 27 名（うち、３名は２回昇格）であった。おめでとうございます。なお、上記 3 氏以外の昇格者については、会報第 183 号 5 頁を参照されたい。

<u>地区団体対抗囲碁会</u>　団体対抗は連合発足の翌年、平成 2 年に始まった。当時 8 つの同好会が月 1 回対戦し、総当りで年間 7 回戦を競った。平成 16 年に若干の変更があった（10 の同好会が 5 回戦を競う方式となった）とはいえ、6 名の選手が各 3 対局する等、基本的な部分は創設当時から現在まで一貫して生き続けている。

今年度は、恩方、中野、由井の 3 チームが勝点 4 で同率首位となったが、勝数上位の由井同好会が 3 年ぶり、4 度目の優勝を遂げた（地区団体対抗囲碁会総括表参照）。

大会の運営はどうであろうか。出場したくても出番がない。毎回 6 名の選手を集めるのが大きな負担になっている。など、二極の悩みを最近よく聞かされる。会員 70 名近くを擁する同好会と 20 名そこそこの同好会とが対等に競技することから当然生じる問題であろう。会員が多い同好会については 2 チームを編成し、少ない同好会同士で共同チームを編成するなどの工夫が必要と思われる。4 月の総会で来年度の棋戦スケジュールが決められるので、今のうちに手を打たなければ問題の先送りになってしまう。皆さんのよい知恵をお借りしたい。

今年度は、女性を含め級位者の方々も親睦の役割を果たした。級位者を出場させていただくよう、また級位者も進んで出場するように目標人数を掲げて呼びかけた。結果、おおむね皆さんにご理解いただき、級位者の方が 16 名（延 18 名）参加された（昨年度は僅か 5 名であった）。

平成18年度団体対抗出場者数

同好会	出場者数
浅川	25(2)　〔2〕
恩方	20(1)　〔1〕
元八	14(4)　〔5〕
中野	11(1)　〔1〕
大和田	14(1)　〔1〕
由井	27(2)　〔2〕
台町	18(3)　〔3〕
由木	13(1)　〔2〕
北野	16(0)　〔0〕
長房	20(1)　〔1〕
計	178(16)　〔18〕

段級位	出場者数
7段	13
6段	30
5段	16
4段	29
3段	29
2段	29
初段	16
1級	7
2級	5
3級	4
計	178

()は級位者実数、〔〕は同延数

今年度の団体対抗囲碁会で下記５名の方が昇格された。おめでとうございます。

新倉幹夫６段/恩方　　郡司弘一６段/元八王子　　荒井　正４段/恩方

五十棲健一４段/恩方（先般の碁楽連大会で５段に昇格）　　渡辺己三男３段/由井

1. 平成18年度（第16回）活きいき囲碁大会の総括表

大会参加者の状況：延出場者数552名(昨年度比77名=16%増)。北野同好会員の遠征参加が顕著であった。

参加者所属 活きいき大会名	浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	由井	由木	北野	長房	非会員	出場者数合計	会員小計	同好会会員数B	H17出場者数	H17比増加数
浅川大会(4/2)	46		1				3			8		3	61	58	69	55	6
恩方大会(5/7)	1	27	4	1			3				1	23	60	37	34	59	1
元八大会(5/28)	2	5	20		1		1			10		6	45	39	25	39	6
中野大会(6/18)		4	6	11			1			13		10	45	35	21	40	5
大和田大会(7/2)		2		3	25	4	1			13		0	48	48	31	30	18
石川大会(7/23)	1				9	16				10	1	7	44	37	20	44	0
台町大会(8/6)	3		1			3	18			11		2	38	36	34	30	8
由井大会(8/20)	4			1				22		12		14	53	39	30	35	18
由木大会(9/10)		1						5	18	14		9	47	38	24	48	-1
北野大会(9/24)	2	1			4		2	3	4	39		3	58	55	57	64	-6
長房大会(10/8)	5	6	1	1	2		3	2		12	16	5	53	48	25	31	22
計	64	46	33	17	41	23	32	32	22	142	18	82	552	470	370	475	77
遠征出場者計A	18	19	13	6	16	7	14	10	4	103	2	-		212			
遠征率A/B	26%	56%	52%	29%	52%	35%	41%	33%	17%	181%	8%						

出場者合計（基礎となる人数）　352
うち　会員出場者合計（基礎となる人数）　276
非会員出場者合計（基礎となる人数）　76
会員ﾍﾞｰｽ遠征率=遠征出場者数/会員出場者数　45%

2. 平成18年度(第17回)地区団体対抗囲碁会の総括表

恩方、中野、由井の３同好会が同率首位となったが、優勝は勝数上位の由井同好会に決まった。
今年度は級位者出場数の増加に一定の成果がみられた(昨年度比13名増)。

	浅川	恩方	元八	中野	大和田	台町	由井	由木	北野	長房	勝点計	勝数計	順位	級位者出場数	同左年間目標
浅川				0 5	1 11	1 11	0 7			1 10	3	44	4	2	1
恩方			0 8		1 11			1 12	1 11	1 11	4	53	3	1	1
元八		1 10					0 2	0 8	1 12	1 10	3	42	5	5	5
中野	1 13				1 13		0 4	1 10	1 17		4	57	2	1	1
大和田	0 7	0 7		0 5				1 10	0 7		1	36	9	1	7
由井	1 11		1 16	1 14		0 7				1 11	4	59	1	2	1
台町	0 7						1 11	0.5 9	0 6	1 12	2.5	45	6	3	3
由木		0 6	1 10	0 8	0 8	0.5 9					1.5	41	8	2	3
北野		0 7	0 6	0 1	1 11	1 12					2	37	7	0	1
長房	0 8	0 7	0 8			0 6	0 7				0	36	10	1	3
											計	450		18	26

上段に勝点、下段に勝(局)数を記載した。

１０月の理事会報告

21 日に開かれました。主な事項は次のとおりです。

１　八王子囲碁連盟との合併調印・・・当日午前９時３０分八王子囲碁連盟渕上和男氏ほか２名理事会に来訪し、合併の覚書に調印した。

来る１１月３日の市民囲碁大会への応援メンバー４名をつぎのとおり決めた。

望月、三浦、真辺、刀根　各理事　このほか竹島会長が挨拶のため出席する。

２　碁楽連囲碁大会(３段以上)の最終準備

役員の配置など詳細の準備を打ち合わせた。

３　高齢会員の表彰

（１）　被表彰者の確定(３段以上・２段以下)

倉田政治　２段（９４歳　台町）　城定　武　３段（９０歳　北野）

中田　勉　６段（９０歳　中野）　山上利博　初段（９０歳　恩方）

中岡　誠　初段（８８歳　北野）　と決定し、３段以上は１１月の大会で、２段以下は１２月の大会で表彰することとした。

８５歳は該当者なし。

（２）被表彰者への通知状・・・３段以上の該当者へは竹島会長から直ちに発送し、２段以下には来月発送する。

４　その他

（１）碁楽連だより大会臨時号の発行を決めた。

（２）午前１１時　松田氏からホームページについてレイアウト、配色、内容等についての説明聴取とホームページの継続方法の検討を行った。ホームページは、同氏提案の市民活動協議会に参加する方向で検討することとし、協議会の内容等資料の収集を松田氏に依頼した。

原稿募集　薄謝進呈します

囲碁に偏らず、日常の出来事、ハイキング、旅行、ドライヴ、読書、音楽、短歌、俳句など・・・政治、宗教以外のことならなんでも OK です。また、同好会員のご家族からでも結構ですのでお待ちしております。匿名での掲載希望は、その旨お書きください。掲載させていただいた原稿については、薄謝を進呈します。

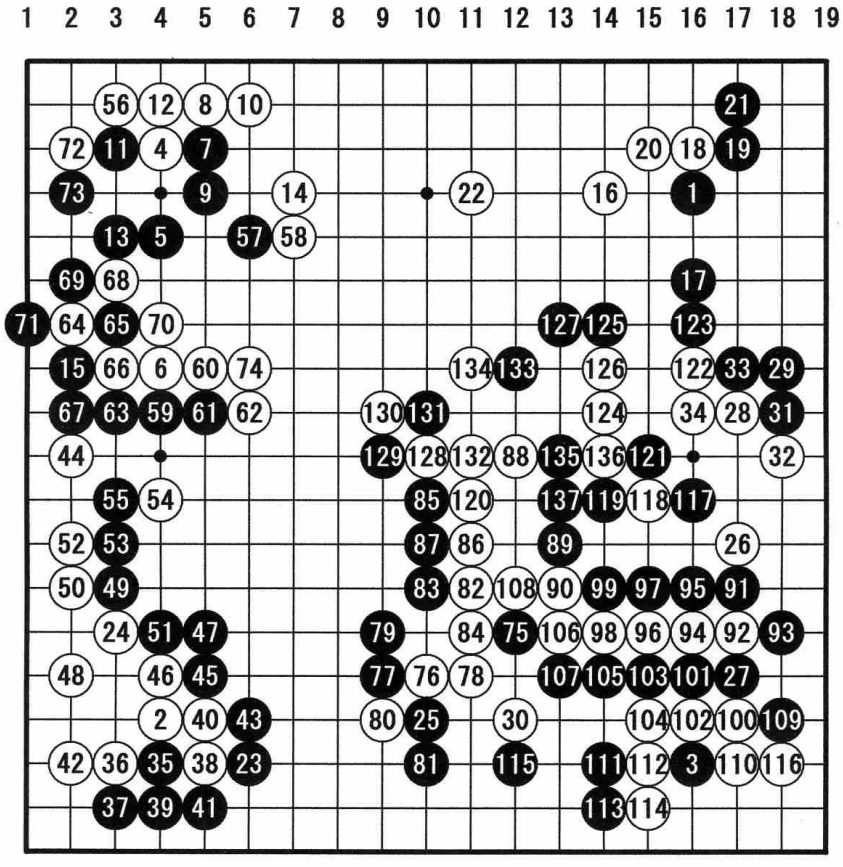
原稿送付先　　八王子市南大沢 5-9-10-601　　竹島　正義

電話・ファックス　　０４２－６７５　　－１５８１

わしにろくな碁（は打てないが）囲碁は一番

E メールアドレス　　７ｚ９ｕ６３@ｂｍａ．ｂｉｇｌｏｂｅ．ｎｅ．ｊｐ

第１７回碁楽連 囲碁大会Ａクラス優勝戦　　部分譜(1-137)
対局日：2006/11/12　結果：その他
黒番：真田誠次 ７段　白番：光岡宏志 ７段



編集後記

今月は、渡辺理事に活きいき地区大会と団体対抗の総括をお願いしたところ、いつもの綿密な性格そのままに過去の資料までお調べくださったうえ、的確な批評をしてくれました。来年に向けて検討しましょう。

来月の碁楽連大会（２段以下の部）は、無断欠席のないようにくれぐれもお願いします（第２ページ参照）。

「同好会めぐり」次回は、石川同好会です。ご自分の同好会を知っていただくチャンスです。字数は、遠慮せずにたっぷりお書きくださるようお願いします。（竹島会長記）